

図1 口唇周囲の筋肉

側へ牽引する筋（笑筋、頬筋）、その他オトガイ筋、咬筋が存在する。挙上筋と下制筋が拮抗的に、また時には協調的に複雑に機能している。

ボツリヌストキシンA (BoNTA) 治療

口周囲における治療に際し、ボツリヌストキシンA（使用薬剤…Onabotulinumtoxin A：BOTOX Vista[®] 注用50単位、アラガン・ジャパン株式会社 ※以下、BoNTAとする）を生理食塩水1.25mLで希釈し、0.025mLあたり1単位の調整したものを用いる。

口唇周囲のBoNTA治療

美しい口唇は、単に口唇そのものをボリュームアップするだけでなく、下顔面において口唇および口唇周囲のバランス（均整）を整えることがポイントとなる。口唇を美しく見せるため口唇周囲のBoNTA治療における5つのアプローチを紹介する¹⁾ (図2)。

口周囲のシワ改善

口唇周囲の縦シワ（別名：smoker's line）は年齢や喫煙・紫外線など生活習慣とともに生じてくる。この動的なシワは、口輪筋（浅層）の繰り返す収縮が要因の1つである。また、上顎骨量の低下による上口唇周囲の余剰皮膚や皮膚の菲薄化に伴う弾力低下により、口輪筋の動きとその周囲の皮膚・皮下組織のバランスが崩れてしまうことも起因している。一方、静止時に刻まれているシワは、皮膚の

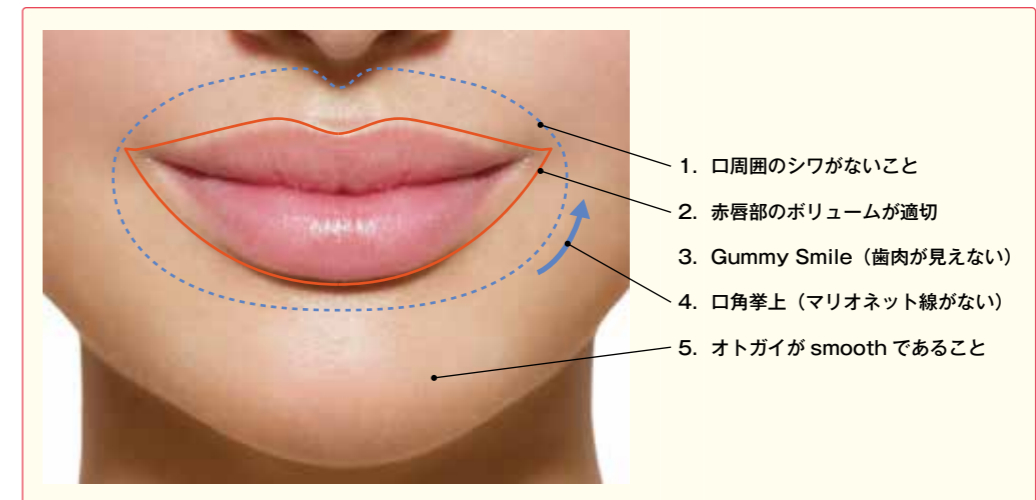


図2 美しい口唇を構成する5つの要素

萎縮や皮下組織の減少も伴っているためヒアルロン酸など皮膚充填材を併用することが好ましいといえる²⁾。

治療方法 (図3)

注入ポイント³⁾

- 上口唇：赤唇縁から2～3mm上方、片側2～3か所。
- 下口唇：赤唇縁から1～2mm下方、片側1か所。

注入量

- 上口唇：片側1～2単位/1か所あたり。
- 下口唇：片側1単位/1か所あたり。

注射の深さ

- 皮下浅層：皮膚を軽くつまみ10～30°の角度で刺入する。

留意点

- 注入により口輪筋の動きが過度に制限されると口をすぼめる動作（例：麺類をすする、楽器を吹く）など日常生活に支障をきたすため、初回注入量は控えめにする。
- 下口唇部は、赤唇より離れて下方（下顎側）、または外側に深く注入すると下唇下制筋に浸潤してしまい、左右非対称になるので赤唇縁ギリギリで浅く注入することが望ましい。
- 口輪筋は、頻回に収縮・弛緩を繰り返す部位なので上顔面に比べ、効果の持続が短い。

赤唇部の増大・上口唇の反転(lip flip)

シワのないふっくらとした口唇は若々しく魅力的に見えるため幅広い世代から好まれる。BoNTA注入により口唇を外転させ、厚みのある口唇にすることが可能となる。ヒアルロン酸による過度なボリュームは出ず、自然なボリューム感を引き出すことが可能となる。

治療方法 (図4)

基本的に、口唇周囲の縦シワ治療と類似している。口輪筋は浅層・深層の2層構造から成り、浅層の筋線維に対してBoNTA注入を行うことにより、深層筋線維の収縮が優位となる。この結果として口唇が前方に反転するため赤唇が厚くなったように見える。これにより鼻尖～下顎部を結んだline (E-line) が直線を成し、口唇のみならず下顔面の印象を美しくする。

注入ポイント

- 赤唇縁から1～2mm上(下)方、片側1～2か所。

注入量

- 1～2単位/1か所あたり。

注射の深さ

- 皮下浅層。